

## 水害に備え、河川防災情報の発信を充実！！

～ 5月28日 福岡県報道発表に関する市の取組み ～

本市は、近年頻発・激甚化する水害に備え、河川整備などのハード対策に加え、国土交通省や福岡県と連携し、河川防災情報の発信や避難体制の強化などソフト対策の充実を図っています。このたび、5月28日に発表された福岡県のソフト対策（別紙①）に関連する本市の取組みをお知らせします。

水害に備え、河川の防災情報に注意し、早めの避難を心がけて下さい。

## 1. 県管理のます淵ダムの「異常洪水時防災操作」の事前情報公開

洪水時に、ダムの貯水容量が少なくなった際、ダムに流入した水と同じ量だけ放流する操作であり、既に河川水位が高い状況で放流量が増加することから、洪水氾濫のおそれが高まるため、緊急的に避難行動する必要があります。

【今後の市の対応】（別紙②）（河川整備課）

6月1日から「北九州市公式LINE」で、県が公表する「ます淵ダム（紫川）」の放流情報や、「河内貯水池（板櫃川）」「畑貯水池（黒川）」の放流・越流情報を市民へ提供。

## 2. 河川水位情報の追加公開（水位計の増設）について（別紙③）

現在、市HP「防災情報北九州」で、市内13河川27箇所の水位計の情報を公開していますが、今回、新たに県が市内6河川6箇所、国が市内3河川4箇所に設置しました。近隣の水位計を確認し、早めの避難を心がけて下さい。

【今後の市の対応】（河川整備課）

今回、国や県が設置した水位計の情報も、今後、速やかに市HP「防災情報北九州」で公表予定。（公表時期については調整中）

## 3. 『竹馬川』及び『金山川』の浸水想定区域図について（別紙④⑤）

県は、竹馬川、金山川の想定最大規模降雨（1000年以上に1度の確率）による浸水想定区域図を公表します。お住まいの場所、避難所を確認し、避難行動に繋げて下さい。

【今後の市の対応】（別紙⑥）（河川整備課、危機管理課）

既公表の遠賀川や紫川などと同様、避難体制等の充実・強化に取り組むこととしており、避難所の見直し等は6月中、ハザードマップは年度内に公表予定。

## 4. 新々堀川排水機場の操作情報の公開

県は、新々堀川排水機場の水門操作情報を公開します。閉門中は排水ポンプを稼働しますが、水門上流の水位が上昇するおそれがあるため、近隣の水位計を確認し、早めの避難を心がけて下さい。

【今後の市の対応】（河川整備課）

今後、速やかに市HP「防災情報北九州」で公表予定。（公表時期については調整中）

担当課：河川管理課  
担当者：北野  
内線：4523  
直通：092-643-3690

## 住民の適切な避難判断を支援するため、ソフト対策の充実を図ります。 ～福岡県管理河川の水門やダムなどの情報を公開します～

福岡県では「平成29年7月九州北部豪雨」「平成30年7月豪雨」と2年連続の洪水被害に見舞われました。

『県民の安全で安心な生活をまもる』ため、河川氾濫を未然に防ぐ河川改修などのハード対策を着実に進めていますが、今後も気候変動の影響などにより水害の頻発・激甚化が懸念されていることを踏まえ、ソフト対策として、避難に関する防災情報発信の更なる充実を図ります。

このことは、県管理河川やダムの監視体制や地域住民への情報提供を強化し、早急な水防活動や住民の適切な避難判断を支援することに資するものです。今回の対策は、以下のとおりです。

### ① 水門の操作情報の公開（別紙-1）

県が管理している主要な水門の操作情報を新規公開

【公開時期】 令和元年6月1日より県のホームページで公開予定

### ② 県管理ダムにおける「異常洪水時防災操作」などの事前情報の公開（別紙-2）

現在、ダムへの流入量・貯水量・放流量は県HPで公開しておりますが、新たに「異常洪水時防災操作」などの事前情報（3時間前・1時間前）、および操作開始の情報を新規公開

【公開時期】 令和元年6月1日より県のホームページで公開予定

### ③ 河川水位情報の追加公開（別紙-3）

危機管理型水位計（67河川68箇所）及び、簡易監視カメラ（5河川5箇所）を追加公開

昨年度までに危機管理型水位計は11河川12箇所、簡易監視カメラは14河川16箇所を公開済みのため、本県で設置した危機管理型水位計の総数は78河川80箇所、簡易監視カメラの総数は19河川21箇所。

【公開時期】 令和元年6月1日より県のホームページで公開予定

### ④ 洪水浸水想定区域図の見直し（別紙-4）

県が管理する既指定の水位周知河川40河川のうち9河川について、「想定される最大規模の降雨」による洪水浸水想定区域図を追加公開

昨年度始めに公開した31河川と併せて、水位周知河川すべての洪水浸水想定区域図を公開

【公開時期】 令和元年5月28日より県のホームページで公開予定

### ⑤ 水位周知河川の新規指定（別紙-4）

一級河川筑後川水系高良川（久留米市）を水位周知河川に指定。また併せて洪水浸水想定区域図を公開。このことにより、県内の水位周知河川の指定と洪水浸水区域図の公開は41河川。

【公開時期】 令和元年5月28日より県のホームページで公開予定

（参考）福岡県による防災情報の発信

雨量や河川水位や河川監視カメラの画像などの防災情報を提供しています。

福岡県河川総合防災情報 <http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis/>

福岡県総合防災情報

検索

# 【別紙—1】県管理水門の操作情報の公開について

- 水門は、支川がより大きな本川に合流する場合、合流する川の水位が洪水等で高くなった時に、その水が逆流しないように設ける施設であり、河川の治水管理上なくてはならないものです。
- 平成30年7月豪雨では、水門閉鎖に伴う浸水被害が発生しました。
- そのため県が管理している主要な**水門の開閉操作情報を、ホームページで公開**します。

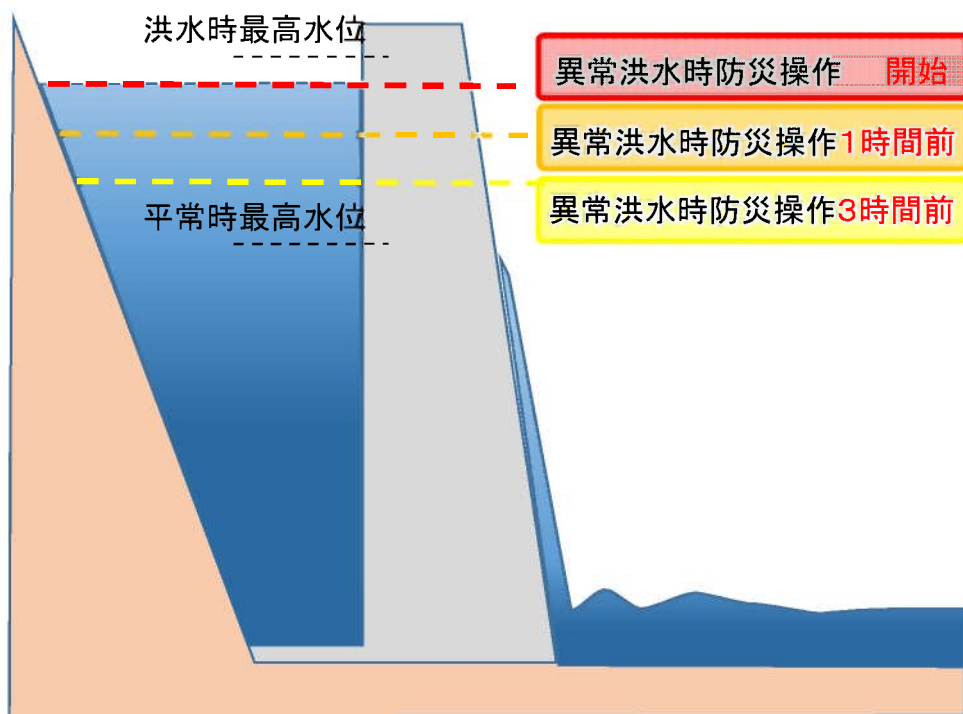
水門状況図

《イメージ》

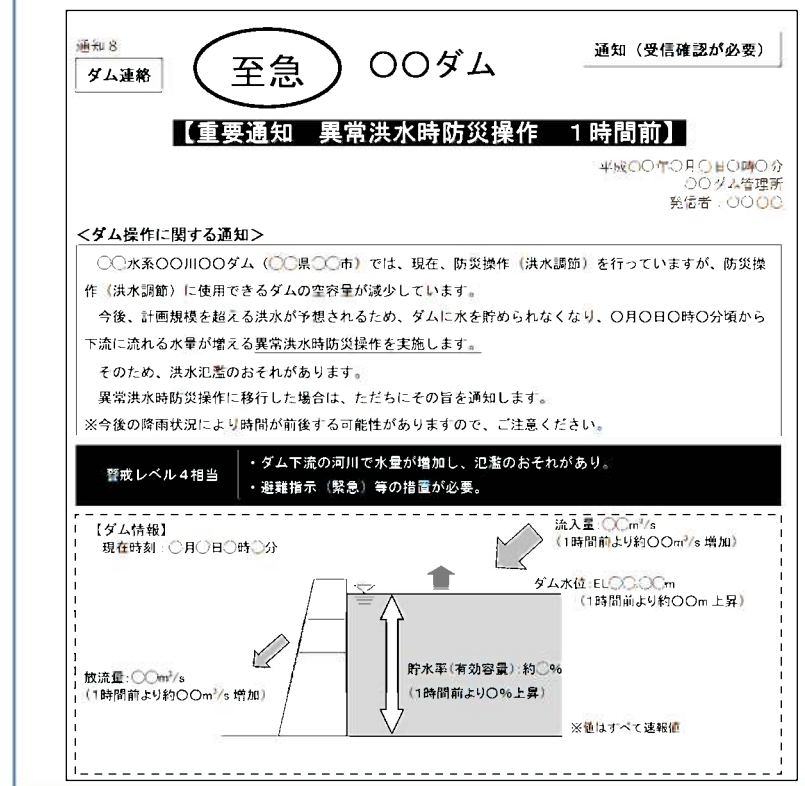


- ダムは、降雨時に上流からの流入量が増えた場合に、一時的に水を溜め流入量より放流量を減少させることで、下流河川の水位上昇を抑制する洪水調節機能があります。
- しかしながらダムに貯めることができる水量(洪水調節容量)には限界があるため、ダムへの水位が上昇し、洪水調節容量が満杯となることが予測された場合、流入量と同程度の放流量とする「異常洪水時防災操作」を行うこととなります。
- そのため、「異常洪水時防災操作」などの事前情報(3時間前・1時間前)や、操作開始の情報を県のHPで公開します。(いままで操作情報は、関係市町村にFAXで情報提供や通知を行ってまいりました。)

●ゲート有のダムの事例



<HP表示イメージ>



The screenshot shows a website notification for a dam emergency. Key elements include:

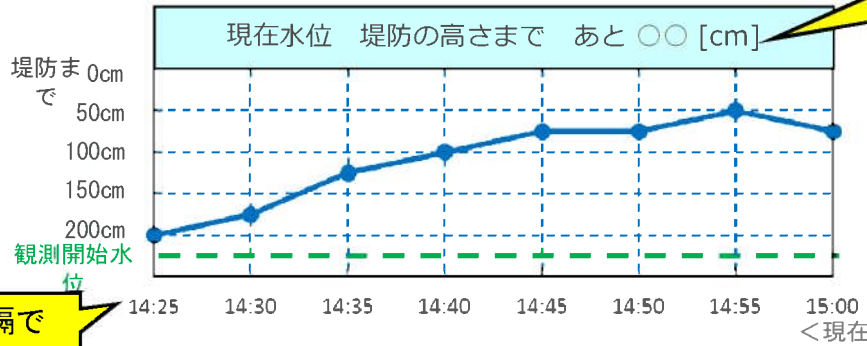
- 緊急 (Emergency):** A red circle with the word "緊急" (Emergency) inside.
- 重要通知 異常洪水時防災操作 1時間前 (Important Notice: Abnormal Flood Disaster Operation 1 hour before):** A black banner with white text.
- ダム連絡 (Dam Contact):** A button labeled "ダム連絡".
- 通知 (受信確認が必要) (Notification (Confirmation of Receipt Required)):** A button.
- ＜ダム操作に関する通知＞ (Notification Regarding Dam Operation):** A text block explaining that due to forecasted heavy rain, the dam's storage capacity is reduced, and abnormal flood disaster operations will be implemented to reduce outflow. It includes a warning about potential flooding and a request for caution.
- 警戒レベル4相当 (Equivalent to Alert Level 4):** A black box with white text indicating a high level of concern.
- 【ダム情報】 (Dam Information):** A section showing real-time data:
  - 現在時刻: ○月○日○時○分 (Current time)
  - 流入量: ○○m<sup>3</sup>/s (1時間前より約○○m<sup>3</sup>/s 増加) (Inflow: ○○m<sup>3</sup>/s, increase of approx. ○○m<sup>3</sup>/s from 1 hour ago)
  - ダム水位: EL○○○m (1時間前より約○○m 上昇) (Dam water level: EL○○○m, increase of approx. ○○m from 1 hour ago)
  - 貯水率(有効容量): 約○% (1時間前より○% 上昇) (Storage rate (effective capacity): approx. ○%, increase of ○% from 1 hour ago)
  - 放流量: ○○m<sup>3</sup>/s (1時間前より約○○m<sup>3</sup>/s 増加) (Outflow: ○○m<sup>3</sup>/s, increase of approx. ○○m<sup>3</sup>/s from 1 hour ago)
- ※値はすべて速報値 (All values are preliminary values):** A note at the bottom right.

# 【別紙—3】水位情報及び監視カメラ画像の追加公開について

- ・「**危機管理型水位計の水位情報**」: 68箇所、及び「**簡易監視カメラの画像**」: 5箇所を、県のホームページで**追加公開**します。
- ・水位情報は、河川の水位が観測開始水位を超えてから、5分間隔で水位を観測して表示します。従来の水位計とは異なり、水位を「**堤防の高さまであと〇〇 [cm]**」と表示します。
- ・監視カメラ画像は、**常時**、10分間隔で**静止画**を表示します。

2018年〇〇月〇〇日 15時00分 現在のグラフ

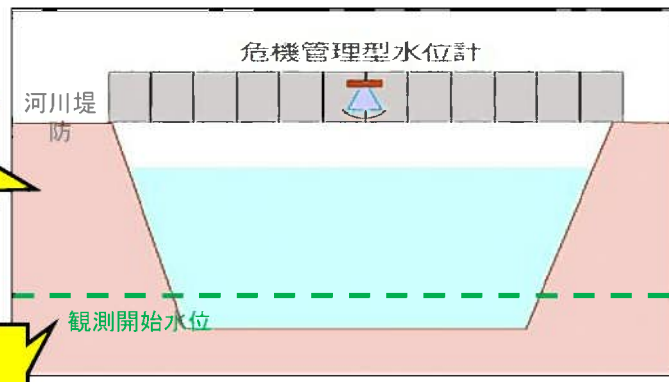
堤防の高さに対して、どの程度まで水位が上がっているか表示



5分間隔で観測

水位の状況をイメージ図で表示

観測開始水位を超えてから観測開始



(簡易監視カメラが同位置に設置している場合は画像あり)

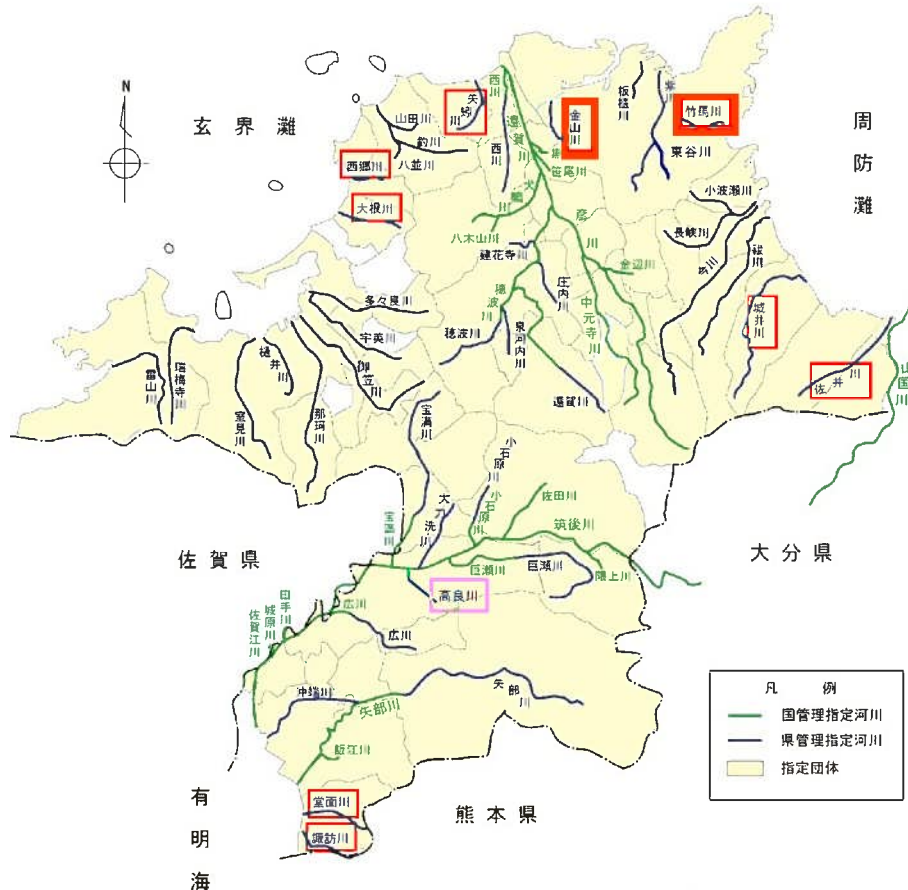


「危機管理型水位計の水位情報」と「簡易監視カメラの画像」の表示イメージ

# 【別紙—4】「洪水浸水想定区域図」の公表、新規指定について

- 洪水浸水想定区域図とは、現在の流域(河川)の状況で、想定される降雨により堤防が決壊したり、溢れたりした場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と浸水深を示すものです。
- これは、洪水時の避難判断や移動手段を検討するうえでベースとなる情報です。
- 対象降雨を「計画規模降雨」から「想定最大規模降雨」に見直した9河川の区域図を公表します。
- また、筑後川水系高良川については、新規に水位周知河川を指定。併せて区域図を公表します。

## <イメージ>



### 今回公表(見直し)

| 水系名 | 河川名 |
|-----|-----|
| 1   | 堂面川 |
| 2   | 諏訪川 |
| 3   | 竹馬川 |
| 4   | 矢矧川 |
| 5   | 大根川 |
| 6   | 西郷川 |
| 7   | 金山川 |
| 8   | 佐井川 |
| 9   | 城井川 |

### 今回公表(新規)

| 水系名 | 河川名 |
|-----|-----|
| 1   | 筑後川 |
|     | 高良川 |

### 【県内の国管理河川における公表状況】

|   | 水系名 | 公表日        |
|---|-----|------------|
| 1 | 遠賀川 | 平成28年5月30日 |
| 2 | 筑後川 | 平成28年6月10日 |
| 3 | 矢部川 | 平成29年3月29日 |
| 4 | 山国川 | 平成29年3月29日 |

### 公表済み

| 水系名 | 河川名  |      |    |      |
|-----|------|------|----|------|
| 1   | 御笠川  | 御笠川  | 16 | 建花寺川 |
| 2   | 多々良川 | 多々良川 | 17 | 泉河内川 |
| 3   |      | 宇美川  | 18 | 遠賀川  |
| 4   | 那珂川  | 那珂川  | 19 | 穂波川  |
| 5   | 紫川   | 紫川   | 20 | 庄内川  |
| 6   |      | 東谷川  | 21 | 西川   |
| 7   | 矢部川  | 矢部川  | 22 | 釣川   |
| 8   |      | 沖端川  | 23 | 八並川  |
| 9   | 樋井川  | 樋井川  | 24 | 山田川  |
| 10  | 室見川  | 室見川  | 25 | 板櫃川  |
| 11  | 祓川   | 祓川   | 26 | 今川   |
| 12  | 長峽川  | 長峽川  | 27 | 小石原川 |
| 13  |      | 小波瀬川 | 28 | 大刀洗川 |
| 14  | 瑞梅寺川 | 瑞梅寺川 | 29 | 巨瀬川  |
| 15  | 雲山川  | 雲山川  | 30 | 宝満川  |
|     |      |      | 31 | 広川   |

## LINE を活用したダムなど貯水施設からの放流・越流情報の提供について

LINE 株式会社が提供するソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) 「LINE」で、ダムなど貯水施設からの放流・越流情報の提供を行うもの。

### 1 提供情報の内容

#### 1) 対象施設

ます涸ダム (紫川)、河内貯水池 (板櫃川)、畑貯水池 (黒川)

#### 2) 提供情報

##### ◇ます涸ダム

通常の放流の「1 時間前予告」と「開始」の情報に加え、異常洪水時防災操作 (緊急放流)「3 時間前予告」「1 時間前予告」と開始の情報を提供

##### ◇河内貯水池、畑貯水池

放流越流の「1 時間前予告」と「開始」の情報を提供

### 2 情報の入手方法【自動応答メッセージ配信】

LINE で「北九州市」を友だち登録後、河川流域の小校区名を入力するたびに情報を入手できます。 ※自動配信ではありません

### 3 アカウント名

「北九州市」



### 4 放流・越流情報の提供開始日

令和元年 6 月 1 日 (土)

## 《危機管理型水位計》市内設置箇所 (R1.5)

### 《福岡県》 6箇所 (H31.3設置)

|   | 主体  | 河川名      | 設置箇所       | 備考               |                      |
|---|-----|----------|------------|------------------|----------------------|
| 1 | 福岡県 | 一級河川 江 川 | 若松区 大字小敷   | 太閤橋              | 防災がっぱブック<br>浸水想定箇所上流 |
| 2 |     | 二級河川 相割川 | 門司区 恒見町    | 相割下橋             | H30 浸水箇所上流           |
| 3 |     | 二級河川 貫 川 | 小倉南区 中貫二丁目 | 中貫橋              | 防災がっぱブック<br>浸水想定箇所   |
| 4 |     | 二級河川 金手川 | 八幡西区 力丸町   | 無名橋<br>本城東力丸町5号線 | 住宅密集地<br>避難場所近傍(本城小) |
| 5 |     | 二級河川 撥 川 | 八幡西区 黒崎五丁目 | 湊天満橋             | 住宅密集地                |
| 6 |     | 二級河川 割子川 | 八幡西区 養福寺町  | 神ノ木橋             | 住宅密集地、バス路線           |

### 【参考】《国土交通省遠賀川河川事務所》 4箇所 (H31.3設置)

|   | 主体    | 河川名      | 設置箇所        | 備考   |                    |
|---|-------|----------|-------------|------|--------------------|
| 1 | 国土交通省 | 一級河川 笹尾川 | 八幡西区 大字楠橋   | 唐熊橋  | 重要水防区域<br>笹尾川排水機場傍 |
| 2 |       |          | 八幡西区 真名子二丁目 | 真名子橋 | 重要水防区域             |
| 3 |       | 一級河川 堀 川 | 八幡西区 大字楠橋   | 塩田橋  | 重要水防区域             |
| 4 |       | 一級河川 黒 川 | 八幡西区 香月西四丁目 | 梅崎橋  | 重要水防箇所             |

※水位情報公表済み

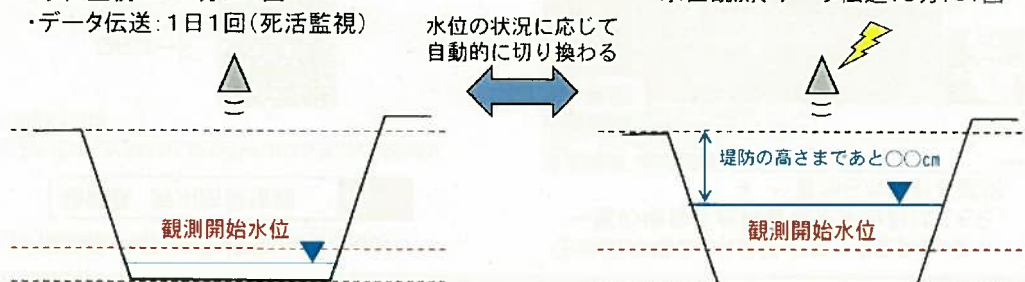
#### ＜水位の観測方法＞

##### ①平常時（監視モード）

- ・水位監視：10分に1回
- ・データ伝送：1日1回（死活監視）

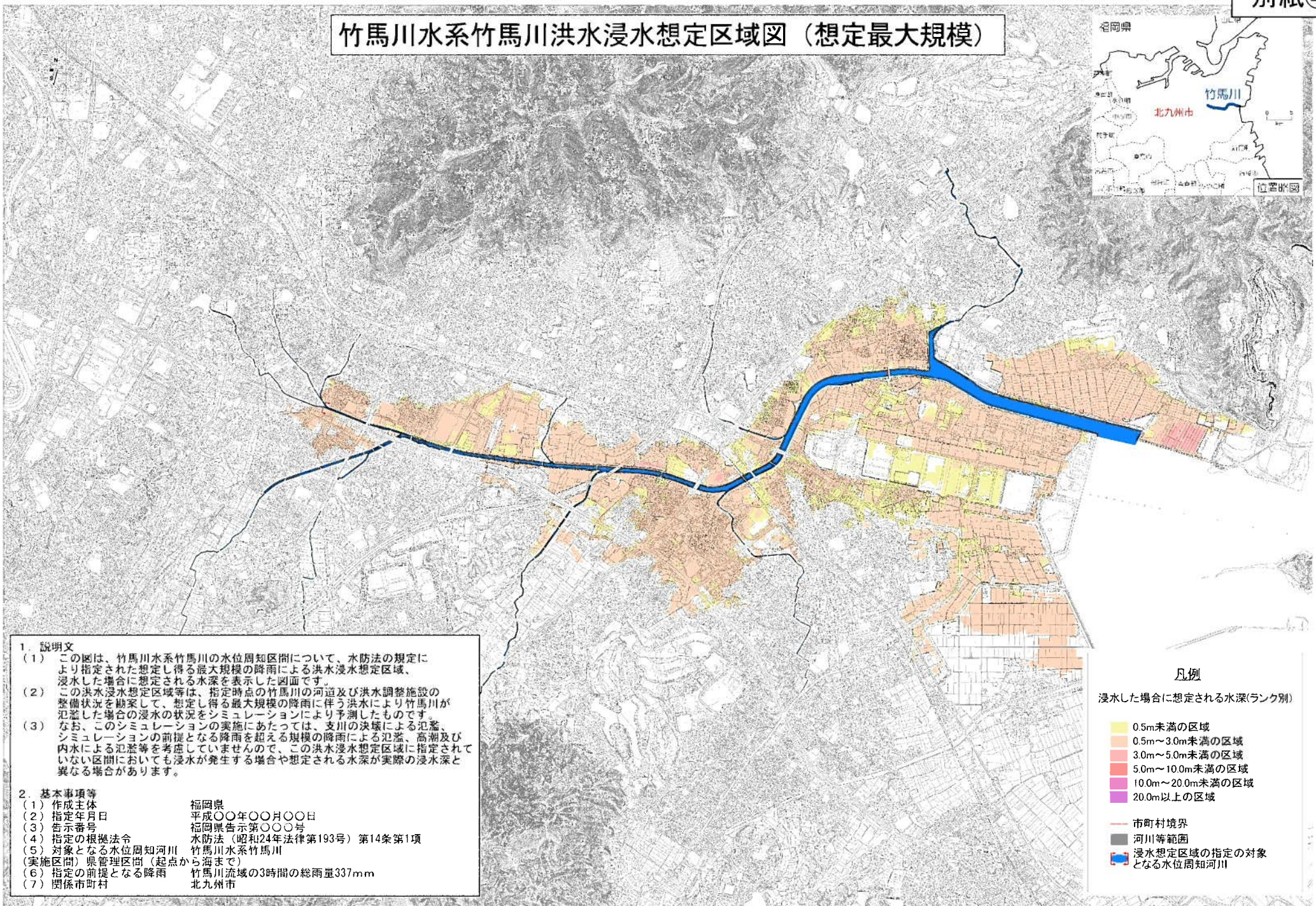
##### ②洪水時（観測モード）

- ・水位観測、データ伝送：5分に1回





# 竹馬川水系竹馬川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



**1. 説明文**

(1) この図は、竹馬川水系竹馬川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の竹馬川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により竹馬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区間においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2. 基本事項等**

|                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| (1) 作成主体              | 福岡県                      |
| (2) 指定年月日             | 平成〇〇年〇〇月〇〇日              |
| (3) 告示番号              | 福岡県告示第〇〇〇号               |
| (4) 指定の根拠法令           | 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項 |
| (5) 対象となる水位周知河川       | 竹馬川水系竹馬川                 |
| (実施区間) 県管理区間（起点から海まで） | 竹馬川流域の3時間の総雨量337mm       |
| (6) 指定の前提となる降雨        | 竹馬川流域の3時間の総雨量337mm       |
| (7) 関係市町村             | 北九州市                     |

**凡例**

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

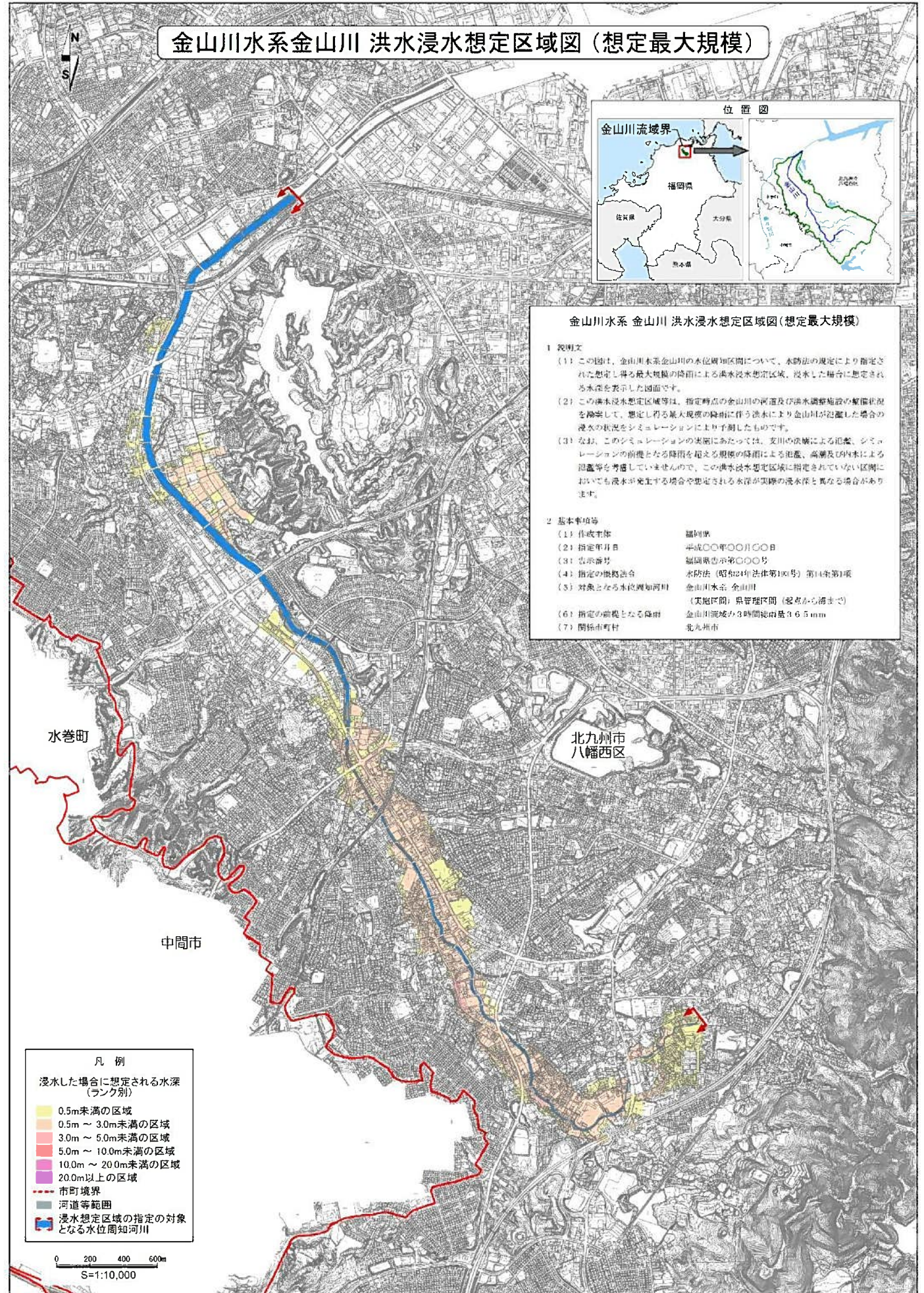
- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

— 市町村境界

■ 河川等範囲

■ 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

金山川水系金山川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



**金山川水系 金山川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)**

**1 説明文**

- (1) この図は、金山川水系金山川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の金山川の河道及び洪水調節施設の整備状況を踏まえて、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により金山川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実態にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前夜となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区間においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2 基本事項等**

|                 |                                    |
|-----------------|------------------------------------|
| (1) 作成主体        | 福岡県                                |
| (2) 指定年月日       | 平成〇〇年〇〇月〇〇日                        |
| (3) 告示番号        | 福岡県告示第〇〇〇号                         |
| (4) 指定の根拠法令     | 水防法(昭和24年法律第100号)第14条第1項           |
| (5) 対象となる水防周知河川 | 金山川水系 金山川<br>(実施区間、県管理区間(起点から浦まで)) |
| (6) 指定の前夜となる降雨  | 金山川流域の3時間総雨量36.5mm                 |
| (7) 関係市町村       | 北九州市                               |

**凡 例**

浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)






|                                                                                                   |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:yellow;"></span>     | 0.5m未満の区域             |
| <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:orange;"></span>     | 0.5m～3.0m未満の区域        |
| <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:red;"></span>        | 3.0m～5.0m未満の区域        |
| <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:lightcoral;"></span> | 5.0m～10.0m未満の区域       |
| <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:purple;"></span>     | 10.0m～20.0m未満の区域      |
| <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:darkpurple;"></span> | 20.0m以上の区域            |
| <span style="display:inline-block; width:10px; border-bottom:1px dashed black;"></span>           | 市町境界                  |
| <span style="display:inline-block; width:10px; border-bottom:1px solid black;"></span>            | 河道等範囲                 |
| <span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border:1px solid blue;"></span>       | 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川 |

0 200 400 600m  
S=1:10,000

この洪水浸水想定区域図は、北九州市長の承認を得て、同市所管の測量成果を複製したものである。(承認番号 平成31年北九建都計都第57号)

## 浸水想定区域公表後の市の対応について

水防法第 15 条に基づき、市と福岡県が連携して、浸水想定区域における避難確保を進めるとともに、水防体制の強化を図る。

|   | 項目                                                           | R 元年度                                                                                             |     |       |     | R2 年度 |
|---|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-----|-------|
|   |                                                              | 4-6                                                                                               | 7-9 | 10-12 | 1-3 | 4-6   |
| ① | <b>浸水対策について</b><br>・警戒避難体制の整理<br>・避難所開設の見直し<br>・避難情報の発令・伝達方法 | <br>継続実施        |     |       |     |       |
| ② | <b>避難所の見直し</b><br>・浸水想定区域内の予定避難所及び一時避難所の見直し等                 | <br>6月上旬         |     |       |     |       |
| ③ | <b>要配慮者施設等の抽出</b>                                            | <br>6月下旬       |     |       |     |       |
| ④ | <b>上記の管理者への避難確保計画や浸水防止計画等の作成支援</b>                           | <br>6月下旬 継続支援 |     |       |     |       |
| ⑤ | <b>ハザードマップの作成及び周知</b>                                        |               |     |       |     |       |

※既に、想定最大浸水想定区域が公表されている遠賀川（H28.5）、紫川、東谷川、板櫃川（H30.4）においては、これに対応したハザードマップを市HPで公表するとともに避難情報発令の見直しを行った。